

一般社団法人 いんくるぱれっと こどもでいさーびす はるぞら 児童発達支援自己評価

記入年月日:平成 3 年 3 月 31 日

		チェック項目	はい	いいえ		工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14 (93%)	0		活動の内容にもよるが、座位保持椅子やテーブルなどを片付けて活動スペースを確保している。雨、風の強い日は「児童館」等を活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	14 (93%)	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14 (93%)	0		利用者のそれぞれの特性を考慮しバリアフリー化を推進している、また、2階への移動は特製のエレベーターを新設した。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14 (93%)	0		清掃マニュアルに基づく・
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10 (67%)	2 (14%)		職員の人数は適切であり、情報の共有、声をdして知らせるなどスムーズな対応ができるよう推進している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10 (67%)	2 (14%)		実施可能となるようルーチンワークを徹底したい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9 (60%)	4 (27%)		何とか実施している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1 (7%)	10 (67%)		検討したい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13 (87%)	2 (13%)		対応している、
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	14 (93%)	0		

適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11 (73%)	2 (13%)		重要なのは子供それぞれにフィットするものがよいが、時間をかけてマッチングスルツールを見出したい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9 (60%)	2 (13%)		月例会議にてゼンスタッフによる見直し、確認を実施。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14 (93%)			実施中。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9 (60%)	0		常勤スタッフにより行動プログラムを作成し週一回の確認を実施している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13 (91%)	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	11 (93%)	0		チャイルドマインダー精神、実施内容に基づき運用している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14 (60%)	2 (13%)		常勤スタッフによる具体的な支援活動と各々の役割等を確認し非常勤スタッフに的確に伝える。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7 (47%)	5 (33%)		はるぞら会議にて、その日の活動を振り返っている。Kidslyによる実務を再確認している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11 (93%)	0		当日の運用を振り返り、スタッフ全員と共有させている。良い部分、足りない部分を明確にして、記録帳の記載・保存。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	13 (91%)	1 (7%)		連絡帳により保護者に確認してもらっている、
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10 (67%)	2 (13%)		事業所連絡会には管理者が出席している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11 (93%)	0		八王子市の保健師等と連絡し対応をしている。

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9 (60%)	0		今後は対応ができるよう、基準づくりをしていきたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	14 (93%)	0		主治医と面談、指示書に基づき連絡先等を確認。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9 (60%)	1 (7%)		必要に応じて情報の共有をしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9 (60%)	1 (7%)		特別支援学校とは相互の情報を共有して運営を理解するようにしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7 (47%)	1 (7%)		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	14 (93%)	0		週1回、藤森公園で活動しており、その地域の子供たちとの交流を重ねている。近所の児童館にも出掛けていき地域とのコミュニケーションを図っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	10 (67%)	4 (27%)		今後、機会があれば参加してみたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14 (93%)	1 (7%)		毎日の送迎時にお話をしてコミュニケーションを図っている。また、Kidslyを利用し保護者とのコミュニケーションを図っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	8 (53%)	7 (46%)		保護者の要望等を調査していきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14 (93%)	1 (7%)		事務所内部に規定集等が見られるよう配置しています。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	13 (91%)	2 (13%)		スタッフ全体に浸透するよう仕組みを検討しながら、地道に進めて行く。	

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14 (93%)	1 (7%)		送迎時の報告m電話及び連絡帳をベースに相談にはすべて対応しています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14 (93%)	1 (7%)		年間スケジュールにて、保護者同士の交流の場を設定している。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13 (91%)	2 (13%)		連絡帳、送迎時に保護者とのコミュニケーションを図っているため、申し入れがあれば対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	15 (100%)	0		月に1度「はるぞら便り」を発行している。Kidslyも活用しながら保護者との関係を維持している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	14 (93%)	1 (7%)		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14 (93%)	1 (7%)		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9 (60%)	1 (7%)		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	13 (91%)	2 (13%)		事務所、保育室、2階休憩室に閲覧しやすいようSETししている。月1度の避難訓練を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13 (91%)	2 (13%)		月1度、指定日に訓練をしている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	14 (93%)	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				昼食・おやつとも家庭からの「持参品」であり、利用開始前に聞き取りを実施している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14 (93%)	1 (7%)		月次の「スタッフミーティング」においても共有できるようにしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13 (91%)	2 (13%)		スタッフミーティングにおいて研修を実施。ロールPも実施。

47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10 (67%)	4 (27%)		身体拘束は行わないことにしているが、万一のことも考慮し可能性を考慮し対応していく。
----	---	----------	---------	--	---

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。